

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階(第一次審査、第二次審査)で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・事例などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第6回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2011年5月13日 締め切り。応募総数58題。

◇研究論文投稿

2011年7月4日 投稿締め切り。応募総数43編。

◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2011年7月13日～7月29日 43編について、査読者による審査。

2011年8月3日 一次判定会議開催。採用2編、再提出37編、不採用4編を判定。

◇再提出投稿

2011年9月1日 再提出締め切り。再提出37編。

◇二次審査

2011年9月5日～9月19日 査読者による二次審査。

2011年9月26日 最終判定会議開催。採用30編、不採用7編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用32編、不採用11編。

(3) 審査の概要

◇形式審査

投稿論文(43編)について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

◇一次審査

投稿論文(43編)の査読者による判定結果は、「採用+採用」2編、「採用+再提出」12編、「再提出+再提出」19編、「再提出+不採用」7編、「不採用+不採用」3編であった。

このうち、「再提出+不採用」論文7編について採否の審議を行い、6編を再提出、1編を不採用とした。

以上の結果、採用2編、再提出37編、不採用4編とした。

◇二次審査

再提出論文(37編)のうち、一次審査で「不採用」が1つあり再審査になっていた6編と、二次審査の結果「不採用」が一つついた4編の計10編については、特に慎重に審議を行った。その結果、5編を採用、5編を不採用と判定した。

(4) 報告会の運営

①幹事 (五十音順)

阿部俊彦 (早稲田大)	碓田智子 (大阪教育大)
岡絵理子 (関西大)	神吉紀世子 (京都大)
木内 望 (国土技術政策総合研)	倉知 徹 (関西大)
小池孝子 (日本女子大)	佐々木誠 (日本工業大)
鈴木雅之 (千葉大)	高井宏之 (名城大)
中田 悟 (東京都市大)	平田隆行 (和歌山大)
藤岡泰寛 (横浜国大)	山崎寿一 (神戸大)
吉田友彦 (立命館大)	

②査読者 (五十音順)

浅沼由紀 (文化学園大)	阿部俊彦 (前掲)	有賀 隆 (早稲田大)
伊藤史子 (首都大東京)	井上えり子 (京都女子大)	碓田智子 (前掲)
大月敏雄 (東京大)	岡絵理子 (前掲)	岡本 肇 (中部大)
門脇耕三 (首都大東京)	神吉紀世子 (前掲)	木内 望 (前掲)
倉知 徹 (前掲)	黒野弘靖 (新潟大)	小池孝子 (前掲)
小杉 学 (愛知産業大)	後藤隆太郎 (佐賀大)	佐々木誠 (前掲)
鮫島和夫 (長崎住まい・まちづくりトラスト)		篠崎正彦 (東洋大)
柴田 建 (九州大)	鈴木 浩 (Housing & Planning Network)	
鈴木雅之 (前掲)	瀬田史彦 (大阪市立大)	高井宏之 (前掲)
田中 勝 (山梨大)	谷 武 (豊橋技術科学大)	谷口尚弘 (北海道工業大)
中島明子 (和洋女子大)	中田 悟 (前掲)	
長谷川洋 (国土技術政策総合研)		花里俊廣 (筑波大)
平田隆行 (前掲)	藤井さやか (筑波大)	藤岡泰寛 (前掲)
松浦健治郎 (三重大)	松本暢子 (大妻女子大)	松山 明 (中部大)
真野洋介 (東京工業大)	水野優子 (武庫川女子大)	葉袋奈美子 (日本女子大)
米野史健 (建築研)	森川 稔 (滋賀県立大)	森永良丙 (千葉大)
森本信明 (近畿大)	安武敦子 (長崎大)	山崎義人 (兵庫県立大)
山中知彦 (新潟県立大)	吉田友彦 (前掲)	